



Good bye Perio

プロジェクト◎

こんにちは、歯科衛生士の井本です。

今日は“ドライマウスがインフルエンザになるリスクを上げる原因になる”という記事を発見しましたのでご紹介したいと思います。

“唾液は口腔内やのどにウイルスや細菌が付着し感染するのを防ぐ”という働きをする事から、ドライマウスの方はそうでない人よりも風邪やインフルエンザに2倍かかりやすいというデータが出ているそうです。しっかりお口の中を保湿することで、風邪の予防にもつながります！ドライマウスの方でなくても、冬は乾燥するのでしっかり加湿して、健康に冬を乗り切りたいですね♪

～いけがみ歯科は、頑張るあなたを応援しています～

歯っぴ～通信

平成 24 年 12 月号 Vol.59

クリスマス・シーズンですね！！

みなさんこんにちは。いけがみ歯科クリニック院長の池上誠です。12月になりましたね。先月の終わりごろから、ぐっと冷え込んできて「ああ、冬がくるなあ」と感じています。急に寒くなってきましたが、体調など崩されていませんか？私は、相変わらずランニングで体調管理しています。そんな寒い時期ですが、寒さとは反対に街はクリスマス一色ですね。クリスマスのネオンはなんとなく気持ちが明るく、温かくなりますよね。我が家にも子どもがいるので、この時期になるとプレゼントをせがまれます。よくよく考えるとプレゼントを公にお願いできるのは、子どもの特権なんだなあと思ってみたり・・・。自分も子どものころ、両親にプレゼントをせがんだものです。そんな親子のやり取りが、この時期に世界中で行われると思うと、さらに心が温まってきました。そんなことを思いながら、寒い街中のクリスマスのイルミネーションを見ているのでした。

院長 池上 誠

噛み合わせのお話⑥～胃腸障害～

今回は、胃腸障害のお話をしますね。噛み合わせが悪いと、どうしても噛む回数が減り唾液の分泌が減ってしまいます。このことは、胃腸へも悪影響を及ぼします。細かく噛みくだかれて唾液と混ざり合うことで、食べ物は胃腸で消化しやすくなるのですが、うまく噛み砕けず、回数も減ることで、胃腸の負担が増えてしまいます。また、唾液が出ると、神経回路を通じて胃液の分泌をするように命令が出ます。これも減ることで、ますます消化器への負担は大きなものになるのです。少しの噛み合わせの悪さでも、胃腸障害が起きるケースがあるので、よくお腹をくだしたり、慢性的な腹痛があったりする人は、チェックしてもいいかもしれませんね。慢性的な胃腸障害ある方やそういったことが気になっている方は、お気軽にご相談ください。

～あなたの声を聞かせてください（患者さまの声）～

このスペースでは、治療後に寄せられた患者さまの声を掲載しています。病院での治療＝待ち時間が長いというイメージがありますが、ここではそんな事もなく、来院の時の自分の足取りは軽いものでした。十年以上、歯科には通っていなかったのですが、こちらのクリニックに出会えて良かったです。定期検診の際は又よろしくお願いします。（岡山市/匿名希望）

〒700-0827
岡山市平和町6-27
WAKAビル2F
発行：池上誠



歯科・口腔外科・小児歯科・
レーザー治療・予防歯科・
インプラント・ホワイトニング
西川沿い・岡山駅から徒歩10分
いけがみ歯科クリニック
(086)237-7731